



### 3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i) 基本構想のとりまとめ
平成29年度は、本県へのIR導入にかかる基本的な考え方、方向性を示す長崎IR基本構想のとりまとめに向け、4回にわたる有識者会議での検討を行うとともに、民間事業者からのアイデア募集を行った(38社から提案)。平成30年度は、4月に有識者会議から長崎IR基本構想のとりまとめについて報告を受けたところであり、今後は同じとりまとめの内容も活かしながら、事業者選定の基準となる実施方針を策定するなど、IR区域認定申請に向けた準備を加速させていく。
ii) 県民意識の醸成
平成29年度は、県内3箇所で開催説明会を行うとともに、広報誌・県政出前講座等を活用した広報活動を行った。なお、説明会参加者へのアンケートでは、96%が「IRとは何か理解できた」と回答、誘致についても89%が「賛成」と回答した。平成30年度は、説明会の開催箇所を10箇所に拡充するとともに、引き続き、あらゆる媒体を活用した広報活動を行っていく。
iii) 官民の連携
平成29年度は、九州各県知事及び経済団体トップが参加する九州地域戦略会議において、本県の取組への理解と協力をお願いするとともに、九州経済連合会、九州観光推進機構等と共同で国等への要望活動を行った。今後も、あらゆる機会を通じて九州各県・経済界の合意形成を進め、「オール九州」としてのIR誘致体制づくりをめざしていく。

### 4. 30年度見直し内容及び31年度実施に向けた方向性

事業番号	取組項目	事務事業名	30年度事業の実施にあたり見直した内容 (H30の新たな取組は「H30新規」等と記載、見直しが無い場合は「-」と記載)	31年度事業の実施に向けた方向性		
				事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
1	取組項目 i ii iii	特定複合観光施設導入推進事業	IR整備法の成立及びIR区域認定手続きの開始を見据え、事業者選定の基準となる実施方針の策定に着手する。併せて、県民意識の醸成を図るため、説明会を拡充する。	⑨	IR区域認定申請に向け、実施方針をもとに事業者選定を行い、事業者と共同でIR区域整備計画を策定する。	改善

注:「2. 29年度取組実績」に記載している事業のうち、H29年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

#### 【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができていないか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点